Int · Cl ·

62日本分類

9日本国特許庁

①実用新案出願公告

B 65 c 9/00 G 09 f 17/00

101 K 0 101 K 92 昭49-22875

実用新案公報

公告 昭和49年(1974)6月19日

(全2頁)

1

69タッグ取付糸

顧 昭43-59494 ②)実

23出 昭43(1968)7月15日

700考案 出願人に同じ

②出 願 人 永井秀一

横浜市戸塚区小菅ケ谷町1648

邳代 理 人 弁理士 飯沼義彦

## 図面の簡単な説明

第1四、第2四、第3回および第4回はそれぞ れ本考案の第1実施例、第2実施例、第3実施例 および第4実施例を示す斜視図、第5図は本考案 のタッグ取付糸をタッグ取付機の管状針に装塡し た状態を示す説明図、第6図および第7図は本考 15 糸7の一部に形成したこぶ状部分8を埋没させた 案のタッグ取付糸の使用状態を示す説明図、第8 図は従来のタッゲ取付ピンの使用状態を示す説明 図である。

## 考案の詳細な説明

等に取付けるためのタッグ取付糸に関し、特にタ ツグ取付機により機械的にタツグを取付けるのに 適した係止片を有するタッグ取付糸に関する。

従来管状針を有するタッグ取付機により繊維製 品等にタングを機械的に取付ける場合は、第8図 25 型加工する第1工程と、ついでブラスチック権を に示すように1本のプラスチック製ピン**1**の一端 に布地2に係止するための棒状係止片3を形成し、 また他端にはタッグ4の穴に掛止めるための掛止 板5を形成したタッグ取付用ピンが用いられてい た。

上記のプラスチック製ピン1はかなり可撓性に 富んではいるが糸にくらべると突張つた感じを与 え、またタッグ取付作業を容易ならしめるために タッグ 4 の穴を大きくすると掛止板 5 も大きくせ ざるを得す、不体裁になるとともにタッグ4の表 35 工したものを示しており、また第4図の実施例は 面の文字を遮蔽する場合も生じた。

本考案の目的は、従来のタッグ取付ピンのもつ 上述の欠点を除去したタッグ取付糸を提供すると とにある。

このため本考案のタッグ取付糸においては、タ ッグを取付けるべき繊維製品等に係止するための 丸棒状の係止片と、輪状の取付糸とを具え、前記 5 保止片の長さ方向のほぼ中央の一点に前記取付糸 の一部を接続するように構成している。このよう に構成した本考案のタッグ取付糸によれば、タッ グの穴に掛止めるための掛止板が不要となり、第 7図に示すようにしなやかな2本の細い糸により 10 体裁よくタッグを取付けることができるとともに タッグ表面の文字を遮蔽する恐れもない。

2

次に図面について本考案の実施例を説明する。 第1図は本考案の第1実施例を示すもので、丸 棒状の係止片 6 のほぼ中央の一点に、輪状の取付 ものである。また第2図に示す本考案の第2実施 例においては、ブラスチック製の丸棒状保止片 6 の内部に埋没された糸りが、係止片のほぼ中央の 一点において外部へ露出し輪状取付糸7を形成し 本考案は値札、荷札のごときタングを繊維製品 20 てから、再び前記の一点において係止片 6 内へ埋 没した構成となつている。この製法としてはブラ スチック原料と1本の長い糸とを用い、1本の長 いプラスチック棒に対し埋没した糸部分9と露出 した輪状糸部分7とが交互に形成されることく成 冬輪状糸部分1ごとに切断する第2工程とをとる ことができる。

> この実施例においては輪状の取付糸了が丸棒状 の係止片6の内部に埋没された糸部分9に連続し 30 ているので、取付糸7が係止片6から抜け落ちる 恐れがなく、また前述のように量差に適した製法 をとることができる。

第3回の実施例は丸棒状の係止片6と輪状の取 付糸7とをブラスチック原料により一体に成型加 梅状の係止片6と輪状の取付糸との接続部分に1 本の短い中間部分 10 が介在したものを示してい る。

第5図は本考案によるタッグ取付糸の丸棒状の 保止片6を、タッグ取付機の管状針11の切構 12に装塡した状態を示すもので、管状針11の 内部において往復移動し得る中心棒 13 により、 布地の裏側において係止片 6 が押し出されるよう 5 る実用性を一段と高めたものといつても過言では になつている。

第6図は、第5図に示すごとく管状針にタッグ 取付糸を装塡したタッグ取付機14により、布地 2にタッグ4を取付ける作業を示しており、この 作業の結果券7図に示すことく、タッグ4が本考10 付糸7の一部を接続して成るタッグ取付糸。 案のタッグ取付糸7を介して布地2に確実かつ体 裁よく取付けられるのである。.

とのように本考案のタッグ取付糸によれば従来 のタッグ取付ピンにおいて必要としたタッグの穴

に対する掛止板が不要となり、したがつてタッグ 表面の文字をかくす恐れもなく、タッグ取付機を 用いて迅速かつ確実にタッグ取付を行なうことが できるのであつて、本考案はこの種のものにおけ ない。

## ⑤実用新案登録請求の範囲

丸棒状の係止片 6 と輪状の取付糸とを具え、上 記係止片6の長さ方向のほぼ中央の一点に上記取

## 69引用文献

公 昭 3 5 - 2 0 9 8

